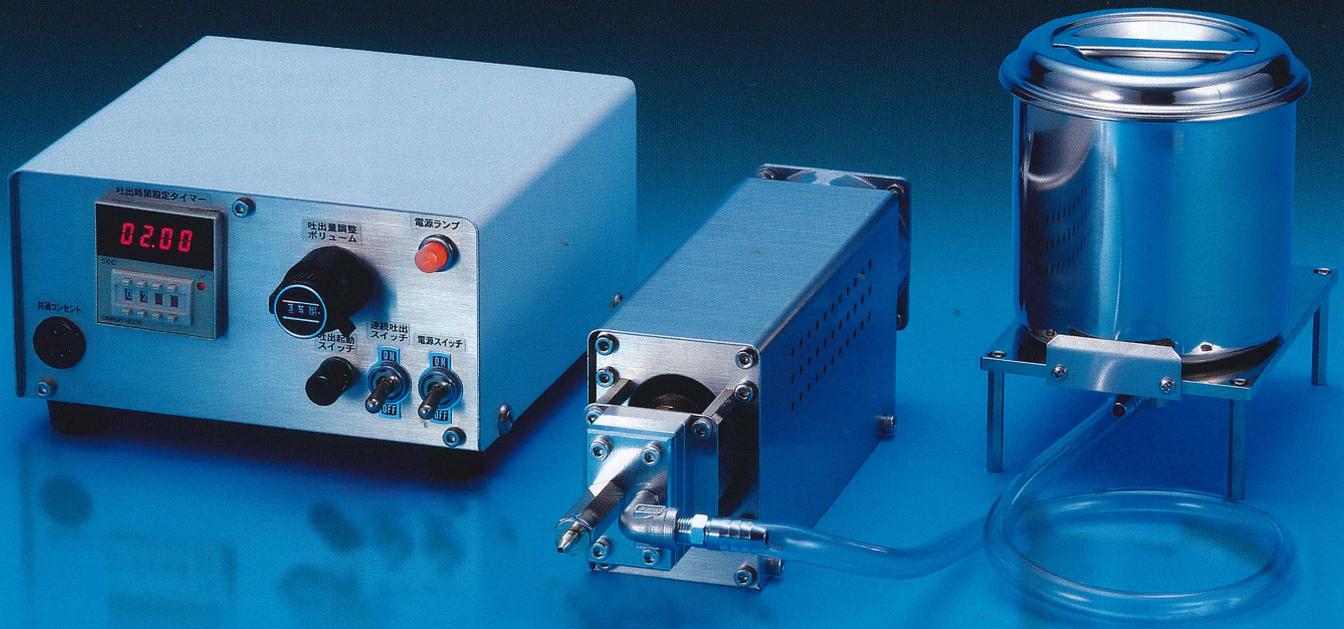


MGP

DISPENSERS

MGP-2111

セパレートタイプ / 一液精密吐出装置



本機は体積計量型マイクロギヤポンプをスピコンモーターで駆動する一液精密吐出装置で、温度等の周囲条件に影響されにくく、きわめて安定した定量性を保ちます。セパレートタイプのため自動機への組込が容易です。 **AC 100Vのみで、他の空圧等一切使いません**

マイクロギヤポンプ方式の特長

高精度吐出が可能です

マイクロギヤポンプ方式なので吐出量は体積で示され、正確に回転角度に比例するため、温度・粘度・比重等の周囲条件に影響されにくく、極めて安定した定量性を保ちます。これらの特性は空圧式、チュービング方式等の他のディスペンサーの追随を許さぬ所です。

高粘度液体の吐出ができます

容積効率100%に近いマイクロギヤポンプ方式なので高粘度の液体でも自吸吐出ができます。また空圧式では困難な高粘度のシリコンオイル(100万CS)の高速吐出も可能です。

微量吐出ができます。(0.0001gより)

吐出量はギヤの回転に正確に比例するため、歯型の小さい歯車を最小角度回転させることにより、最小量0.0001gまでの微量吐出ができ、かつ再現性があります。

セパレートタイプによる特長

コントロール部、吐出部、タンク部がコードとチューブによって分離されているため吐出部が軽量化され、ロボットや自動機への組込みが容易となりました。

容積効率の極めて高いギヤポンプがバルブの役目をするのに加えて、セパレートタイプとしたためギヤポンプ吐出口とノズル先端までの流通管路が短くなり、液切れ良く吐出できます。

カートリッジ加圧装置との組み合わせにより、カートリッジタイプ樹脂の定量吐出も可能です。

www.dispenser.jp

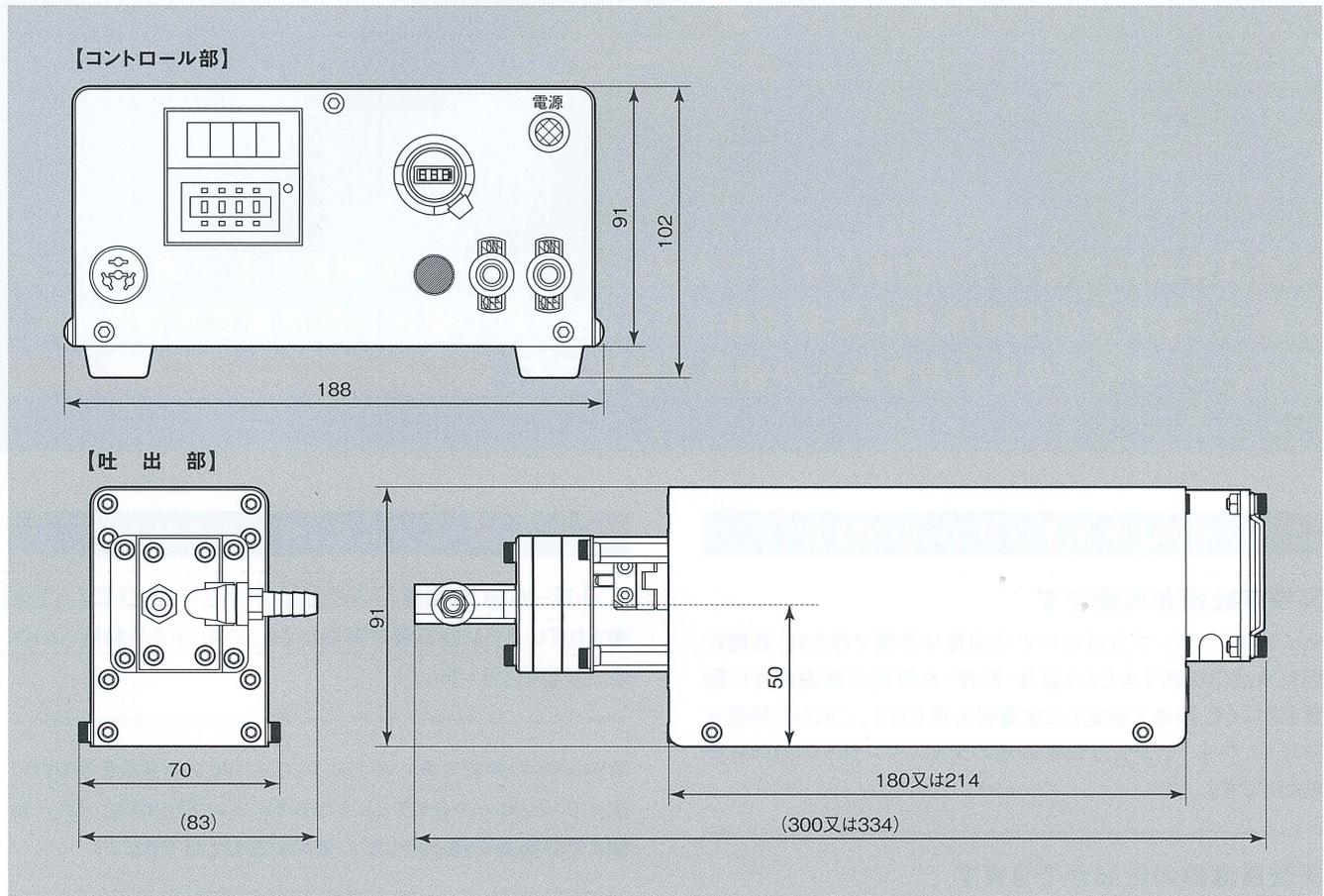
MGP-2111 セパレートタイプ 一液精密吐出装置 仕様

寸法	コントローラ	ギヤポンプ駆動部	機能	タイマー	デジタル表示タイマー-吐出時間設定範囲 0.1sec~99.99sec
	188×225×102mm	334×70×91mm		吐出量調整ボリューム	デジタル3桁表示 ロックバー付き 可変範囲ボリューム値 130~999
重量	2.1kg	3kg	ギヤポンプ部	連続吐出スイッチ タイマーショット打ちスイッチ 自動機接続用端子	
吐出量	最小ショット吐出	0.0001g/shot		信号	AC100V DC24V
	最大連続吐出	10g/min	使用ギヤポンプ	MGP-1.5型,2型又はMGP-2.5型マイクロギヤポンプ	
吐出可能粘度範囲	100万mPa・s~1mPa・s		吸入口	内径8mmチューブ用ホース口(標準仕様)	
	●目標とする吐出量に応じて吐出量可変範囲を設定 ●吐出時間を長くすれば時間によって吐出量増加可能		吐出口	6×4 チューブ用ホース口 金属ノズルニードルアダプター	
吐出精度	粘度 5万mPa・s~500mPa・s	吐出量 0.05g以上3%以内	コントロールボックス吐出部接続コード	8芯キャプタイヤコード	
		吐出量 0.05g以下3%以内	駆動モーター	可変スピードインダクションモーター	
	粘度 50万mPa・s~5万mPa・s 500mPa・s~100mPa・s	吐出量 0.05g以上3%以内	電源	AC 100V 50/60Hz AC200V仕様も可能	
		吐出量 0.05g以下5%以内	吐出部取付寸法	M4タップ穴 4カ所 40×118/182mm	

*エア源は全く不要です。

MGP-2111 セパレートタイプ 一液精密吐出装置

寸法(単位:mm)



●高粘度の樹脂やチクソトロピックスの高い樹脂の場合、高粘度タイプのギヤポンプを使用します。 ●変性アクリル樹脂等、金属イオンに反応する樹脂の場合、樹脂製ギヤポンプを使用する場合があります。
●フィルター入りの樹脂の場合は、あらかじめご相談下さい。 ●別紙のユーザー仕様書にデータをご記入になり、使用液を300g程度お送りいただければ、吐出パターンを台紙の上に吐出して測定してお送りいたします。なお、ワークまたはダミーの上に吐出する実験もお手伝いいたします。 ●アプローチ、エスケープの方法ならびに自動機の設計、製作もいたします。

※記載内容については、改良のため予告なく変更する場合があります。 ※本カタログに記載されている内容は、平成29年12月現在のものです。

株式会社 日本省力技術研究所

〒274-0825 千葉県船橋市前原西1-36-10
TEL : 047-477-3521 FAX : 047-477-3548
http://www.dispenser.jp/